

2024年度 早稲田大学大学院教育学研究科

高度教職実践専攻入学試験

(特別選考入試 (後期日程) : 小論文)

問題用紙

注意事項

1. 問題冊子および解答用紙は、試験開始の指示があるまで開かないこと。
2. 問題は、2ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 受験番号および氏名は、試験が開始されてから、解答用紙の所定欄に正確に記入すること。
なお、解答用紙が複数枚ある場合には、それぞれの所定欄に正確に記入すること。
受験番号は以下の例のとおり、数字で記入すること。

(例) 11001 番 ⇒

万	千	百	十	一
1	1	0	0	1

4. 解答はすべて解答用紙の所定欄にHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
5. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答を止め、筆記具を置くこと。終了の指示に従わずに解答を続けた場合は、答案の全てを無効とするので注意すること。
6. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。
7. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

小論文注意

1. 解答は横書きとし、楷書で左から右へ書くこと。
2. 句読点、記号等、および改行のために生じる余白もすべて字数に含む。また、解答用紙の字数を超えて解答してはいけない。
3. 本文中に自分の氏名を書かないこと。
4. 小論文解答用紙は汚したり、折りまげたり、破ったりしないこと。
5. 下書きは、別に配付の下書用紙を使用すること。試験終了後、下書用紙は持ち帰ること。

以下の論題について、1100字以上1300字以内で解答してください。

論題

2021年3月26日に第6期科学技術・イノベーション基本計画が閣議決定されました。この基本計画では、我が国が目指すべき Society 5.0 の未来社会像を、「持続可能性と強靱性を備え、国民の安全と安心を確保するとともに、一人ひとりが多様な幸せ（well-being）を実現できる社会」と表現し、その実現に向けた『「総合知による社会変革」と「知・人への投資」の好循環』という科学技術・イノベーション政策の方向性が示されました。

また、自ら課題を発見し解決手法を模索する、探究的な活動を通じて身に付く能力・資質を磨き高めるために、初等中等教育段階から、児童・生徒の自発的な「なぜ?」「どうして?」を引き出し、好奇心に基づいた学び、つまり「探究力」の育成が必要と記されています。

そこで、自校における児童・生徒の「探究力」を育成するに当たり、現状の取組と課題を挙げ、その課題の解決に向けて、あなた自身がどのように取り組んでいるか、担当する教科・科目や道徳、総合的な探究（学習）の時間、特別活動などでの実践にも触れながら述べなさい。

（注） ここで言う「自校」とは、現任校もしくは直近の勤務校を指しています。